

# とらやまの森

<http://www.tsushima-yamaneko.jp/>

2011 冬号  
NO. 51

## 非常事態宣言、 発令。



ケガをしたら、見ているヤマネコをみつければ！  
ヤマネコ緊急ダイヤル  
0920-84-5577  
中島山動物園受付からです。

写真提供：川口誠

この1年間で既に**7件!**  
(平成21年12月～平成22年12月)



- |            |                 |
|------------|-----------------|
| 平成21年12月8日 | 峰町志越            |
| 平成22年1月11日 | 上県町鹿見           |
| 3月21日      | 峰町橋             |
| 6月8日       | 上対馬町浜坂須         |
| 11月1日      | 峰町大久保<br>豊玉町佐志貫 |
| 12月24日     | 上県町佐渡           |

飛出し注意

ツシマヤマネコ交通事故非常事態宣言  
を発令しました！

ツシマヤマネコの交通事故は、平成十八年度に過去最高の死亡数（七件）を記録して以来減少傾向にあり、平成二十年二月の上対馬町一重での事故発生後、無事故記録六七五日を達成していました。しかし、平成二十一年十二月の峰町志越で事故が発生した後から再び増加傾向となり、既に七件の事故が発生しています。同じ期間内に十八件のヤマネコの保護取容がありました。交通事故での取容が一番大きな割合を占めており、その全てが死体での取容となっています。

この現状をうけ、環境省、長崎県、対馬市では、平成二十一年十二月八日に「ツシマヤマネコ交通事故非常事態宣言」を発令しました。この非常事態宣言は、今後ヤマネコの交通事故を増加させないために、島民および島外からの観光客の皆さまにヤマネコの交通事故の現状を知っていただき、ヤマネコの飛び出しに注意して安全運転を心がけていただくことを目的としたものです。

動物との交通事故は、動物だけでなく、衝突回避のための急ハンドル・急ブレーキ等、ドライバー自身の事故につながる危険性もあります。特にシカやイノシシなどの大型動物との衝突の場合同様に、車両の破損や死亡事故等、大変大きな危険を伴います。

人と動物の双方の命を守り、快適に車を運転するためにも、ゆとりを持った安全運転をお願いします。

# やまねこ News

## 下島北部で

### ヤマネコの糞を発見！

九月二十五日、金田城跡登山道を散歩していた観光客から、ツシマヤマネコらしき糞を採取したとの連絡がありました。採取した糞を長崎県環境保健研究センターに提供し、DNA分析を依頼したところ、ツシマヤマネコのオスの糞であることが確認されました。平成十九年以降、下島におけるツシマヤマネコの確実な生息情報は、南部の内山周辺および小浦周辺地域で数回確認されただけでした。しかし今回の発見によって、ツシマヤマネコが生息できる環境が下島北部にも残されている可能性があることが確認できました。

今後センターでは長崎県・対馬市と協力して金田城周辺で痕跡調査と自動撮影調査を行う予定です。みなさんも下島でヤマネコの可能性のある糞を探してみてください！そして、発見した際はぜひセンターへご連絡ください！

～ヤマネコの糞の特徴～  
 ・ネズミの毛が入っている  
 ・イネ科の植物が入っている  
 ・道の中身や橋の手すりなどに落ちている



## 飲食店で

### ヤマネコ保護

十二月五日（日）午前十時半ごろ、上対馬町古里の飲食店「もちたろう」にツシマヤマネコが逃げ込んだとの連絡がセンターに入り、現場に向かいました。

大勢のギヤラリーが見守るなか、扉の換気扇をかじって逃げようとしていたヤマネコを無事に保護しました。保護されたヤマネコはオスの亜成獣で体重は二二〇gほど少し痩せており、保護直後は食欲のない日もありました。しかし、体調が良くなると餌もよく食べるようになり、体重も二〇〇gほどを超えました。今後はヤマネコの状態を見ながら野生復帰を検討する予定です。

今回もたくさんの方のおかげで、ヤマネコの命を救うことができました。これからヤマネコの保護にご協力をお願いいたします。



保護されたヤマネコ

ヤマネコ目撃情報なら、どんな些細なことでも結構ですのぞ、やまねこセンターまでご連絡下さい。



## 職員日誌⑫ 『近い自然と遠い自然』

豊野達夫さんの本に、人には2つの自然がある、ということが書いてありました。2つの自然とは、身近な自然と遠くにある自然のことです。対馬にあっては、下島と上島と、日常生活で目にしたり、様々な産物を生んでくれている対馬の自然と、例えば知床に遠くやヒグマがいる、そういう豊かな自然が存在することを想像したり、旅行したりして心が豊かになる、そういう自然のことかと思えます。一方で、知床の人にしてみれば、ヒグマがいる自然が身近な自然であり、野生のヤマネコがいる対馬は、不思議な魅力を持った遠い自然になります。

センターの仕事は、対馬の人にとっての近い自然、島外の人にとっての遠い自然であり対馬の豊かな自然を、それぞれの人にとって価値のある状態とし、価値を提供していくことを考えています。「それぞれの人にとって」というところがなかなか難しいところです。

追伸、このたびは結構いたしました。今後ともよろしくお願ひいたします。

自然保護官：水崎  
 （出身地：神奈川県）



センターの業務全般を  
 統括しています！！  
 趣味は登山とバイオリン  
 です。

### 第7回ヤマネコ・クイズ！

ヤマネコの大好物（食べ物）は何でしょう？

# 対馬の環 News



## とらばさみのへー!

六月二十二日上県町で、また、八月六日に豊玉町においてとらばさみに掛かったヤマネコの保護がありました。とらばさみは平成十九年度から法律等で全面的に使用が禁止されており、とらばさみによるヤマネコの捕獲が判明したのは、前回から約三年半ぶりのことです。保護されたヤマネコ二頭のうち一頭は現在も治療が続けています。

環境省、長崎県、対馬市では対馬南・北警察署と協力して、「なくそう」とらばさみ(ゼロ)キャンペーンを実施しています。とらばさみを使ってテンやヤマネコを捕獲しても、別のテンやヤマネコがやつてきますので、罠を守るには、野生動物が侵入できないように遊小屋を補修することが最も有効です。

センターでは、野生動物に襲われたい遊小屋のポイントをまとめてパンフレットを作ったり、実際に一緒に遊小屋の補修をしたりしています。

野生動物による遊小屋の被害に悩まれている方は、是非センターまでご連絡ください。



## イベントあれこれ

### 舟志の森 やまねこ音楽祭 2014

十一月六日、舟志の森自然学校で今年もやまねこ音楽祭が開催されました。ジャズやポップス等の色々な音楽で来場者を楽しませてくれました。来場者からは「色々な音楽が聞けて楽しかった」「ぜひもつとたくさんの人に聞いてほしい」等の声が聞かれました。

### 内山盆地収穫祭

十一月二十一日、厳原町内山で内山盆地収穫祭が行われました。お祭りの参加者は千人を超え、盛況ぶりに驚きました。センターもツシマヤマネコのつばきちゃんとともに参加し、ヤマネコのパネル展示などを実施しました。

### 三地区合同意見交換会

環境省では、内山、佐渡、舟志の三地区でヤマネコを活用して地域を元気にする取り組みを行っています。各地区の活動紹介と情報交換、および交流の為、十二月五日に上対馬町舟志で三地区合同意見交換会を行いました。普段知ることのない他地区の取り組みを聞いて大変参考になったとの声がかれました。



舟志の森  
山本あゆみ

第9回

## 対馬の守人

建築士

鼻崎

象三さん

「対馬で建築のことを知りたかったらあの人の助けを借りよう」と思われるような人になりたい。  
 厳原町下原出身。小学校と大学、就職してから6年間を島外で過ごし、30才で対馬に戻り独立。木造建築が好きで、大浜小学校、半井橋水館、やまねこ工房、渡辺菓子舗などを手がけています。やまねこセンターも、昨年の改修工事の際にお世話になりました。  
 (株)長崎県建築士会では対馬の石垣を研究し、現在は有志で石屋根や遊小屋の設計図を調べるとしています。また「つしまの木の家を造る会」で対馬の木材で家を建てる活動を行い、対馬の森を豊かにするためにNPO法人対馬那宿ではピンポイント森を育てるなど、木を使うだけでなく育てるところから関わっています。



センター用語

# センター News

とらやまの森 No.51 2011 冬号

## イベント報告&情報

### —自然ふれあいイベント報告—

#### 11/16(土) あまねこ教室

奇志の森自然学校の青空の下、「奇志の森」で育てているどんぐりとネズミの関係や、生き物たちの様々な生き残り戦略を、ゲームを通して学びました。

学方からの音楽整でもどんぐりを扱ったお菓子やヤマネコ缶など、ヤマネコ缶くしの日でした☆



#### 12/12(日) 龍良山散策

信朝の山として守られてきた龍良山遺物林を、講師の長塚健治先生のお話を聞きながら散策しました。

ツルの渡りや冬の植物たち、森の木々の様子や香りについて等、面白いお話しに、参加者の皆さんも聞き入っていました。



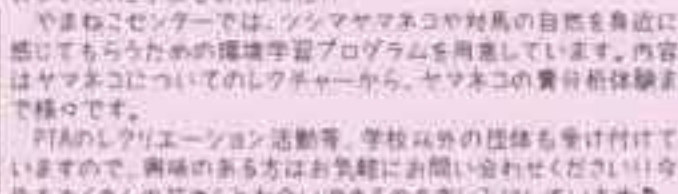
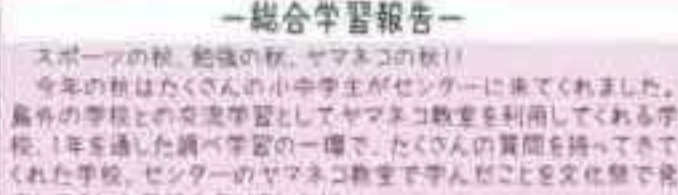
### —総合学習報告—

スポーツの秋、読書の秋、ヤマネコの秋!!

今年の秋はたくさんの方の小学生がセンターに来てくれました。島外の学校との交流学習としてヤマネコ教室を利用してくる学校、1年を通じた調べ学習の一環で、たくさんのお話を聞いてくれた学校、センターのヤマネコ教室で学んだことを文化祭で発表してくれた学校もありました!!

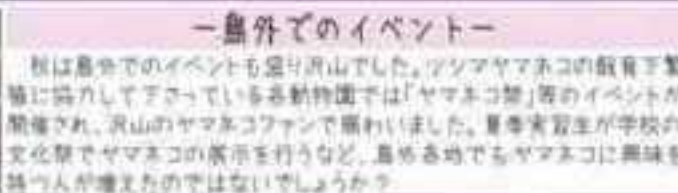
やまねこセンターでは、ツシマヤマネコや対馬の自然を身近に感じてもらうための環境学習プログラムを用意しています。内容はヤマネコについてのレクチャーから、ヤマネコの飼育体験まで様々です。

PTAのレクリエーション活動等、学校以外の団体も受け付けていますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせください!!今後もたくさんの方とのお会いできるのを楽しみにしています♪



### —島外でのイベント—

秋は島外でのイベントも盛り沢山でした。ツシマヤマネコの教育普及館に協力してアサッている動物園では「ヤマネコ祭」等のイベントが開催され、沢山のヤマネコファンで賑わいました。夏季学習生が学校の文化祭でヤマネコの展示を行うなど、島外各地でもヤマネコに興味を持つ人が増えたのではないのでしょうか?



やまねこセンターでは、11月からはツシマヤマネコについて知っていただくためのイベントも開催しています。興味のある方は是非センターへご連絡ください!!



**☆イベント案内☆**  
2月28日(日) クラウド教室  
長い冬を過ごすためのアイデアをおたのしみください。オリジナルの作品を作ります。  
時間: 12:00~15:30  
集合場所: 奇志の森自然学校(島外別館)  
※参加料のほか、材料費も含まれます。

「ヤマネコ講座」  
CATVで放映中  
毎週水曜  
18:00、17:00、  
22:00~  
是非見て  
くださいわ♪



イベントの参加には事前の予約が重要です。申込・お問い合わせは担当: 一徳 龍山まで。

### 編集後記

対馬の冬の寒さにはしっかり対応しているヤマネコ達。猫はますます冬毛が濃くなっています。夏より太っているように見えますが、決して太っているわけではないのです!! 2011年が対馬とヤマネコと、皆さまにとって良い年になりますように、今年もよろしくお祈りします!!



今日の一枚  
「セントジヤク」  
今年も対馬の冬は厳しいです。ヤマネコ達は冬毛が濃くなり、太っているように見えますが、決して太っているわけではないのです!! 2011年が対馬とヤマネコと、皆さまにとって良い年になりますように、今年もよろしくお祈りします!!

### 休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は閉館し、その翌日が休館日となります。

★「とらやまの森」の記事を印刷できる無料のサービスは、お申し込みが必要です。お問い合わせください。

# とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twco/index.htm>

東日本大震災により被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。  
被災地の皆様の安全と一日も早い復興を心からお祈りしております。  
対馬野生動物保護センター一岡

2011 春号  
NO. 52

3月23日 津波  
この先！  
ヤマネコ  
飛び出し注意！  
夕方～早朝  
通行注意  
事故防止看板

「ネコ走り」を利用する  
ツシマヤマネコ



ヤマネコの事故、  
続く…。

事故地点



死亡したツシマヤマネコ  
(特町大久保)

## ヤマネコの交通事故と 交通事故対策への取組み

平成二十三年三月二三日、特町大久保で、交通事故で死亡したツシマヤマネコを収容しました。このヤマネコは雌の成獣で、一頭の胎児を妊娠していました。今回の事故で、平成四年以降の交通事故発生件数は累計で五六件（うち死亡四九頭）となってしまいました。また、妊娠中のヤマネコが交通事故により死亡したのは、平成一八年三月に上対馬町で二頭の胎児を妊娠していたヤマネコに続き二頭目となり、大変残念な結果となりました。

このように、健全なヤマネコも被害に遭う交通事故は、ヤマネコの深刻な減少要因の一つです。そこで、センターでは、ツシマヤマネコ応援団と協働し、カルバートに動物の移動用足場「ネコ走り」を設置しました。その後、の利用状況を調査した結果、ヤマネコをはじめとする野生動物の利用を確認することができました。「ネコ走り」の設置はヤマネコの交通事故を未然に防ぎ、事故を減少させる有効な手段の一つであることが分かりました。

ただし、これらの対策でも完全にヤマネコの道路の利用を防ぐことはできません。道路に出でてしまったヤマネコを守ることもできるのは、ドライバーの皆さまだけです。センターでは今後、事故発生箇所における交通事故防止看板の設置や、チラシ等の配布などを通して、交通事故防止の普及啓発を進めていきたいと思っています。ドライバーの皆さま、安全運転へのご協力をお願いいたします。

### センター用語

カルバート…道路下にある排水用のコンクリート管。移動経路として野生動物にも利用されている。

# やまねこ News

## ヤマネコの亜成獣 保護↓野生復帰しました

平成二十三年一月二十三日、十六時半頃に峰町志多賀の林道で衰弱しているツシマヤマネコを、峰町在住の児玉惣一さんが保護しました。二十四日朝に峰地域活性化センターに運ばれ、センター職員が保護・収容しました。児玉さんによると、車で林道を走行中、ヤマネコが目の前をふらふらと横切ってそばの藪に逃げ込んだので、車から降りて確認したところ、動けなくなっている小さなヤマネコを発見したそうです。

このヤマネコは雄の亜成獣で、体重は一五〇gとややせ気味で、血液検査の結果、FIV、FeLV（センター用顕参照）ともに陰性でした。現在は、保護された時の二倍の約三〇〇gまで大きくなり、生き餌をとる訓練などをした後、四月十八日に保護された付近の山中で野生復帰しました。

このヤマネコは児玉さんに出会わなければ、ひょっとしたら山の中で命を落としていたかもしれません。児玉さん、ご協力本当にありがとうございました。



保護された亜成獣

## ヤマネコ、 野生へ帰った後は…?

平成二十二年十二月五日に群馬市上野馬町古里の飲食店「もちたろう」で保護されたツシマヤマネコは、体調が順調に回復したことから、保護された付近の山中で二月十八日に野生復帰しました。復帰した後、二日ほど付近の山中にいましたが、その後移動し、現在は上野馬町の富浦付近で定着しています。このヤマネコにも首輪型の発信機を装着しており、センターでは追跡調査をしながらヤマネコの状況を確認しています。

### ヤマネコの移動軌跡 (2/18~4/14)



野生復帰したヤマネコ

## 職員日誌⑬ 『よろしくお願ひします』

はじめまして、山中です。4月より群馬野生生物保護センターでお世話になることになりました。私は兵庫県三田市というところからやってきました。おそらく、三田市を知っておられる方は少ないと思います。読んで字のごとく、田んぼがたくさんある田舎で育ちました。そのときは稲がどんどん大きくなって行くまで季節を感じていました。私の家からセンターまでの間にも田んぼが多くあり、毎日それを見ながら通勤ができてしまうのでとってもうれしい気持ちと、どこか懐かしさを感じています。センターでは交通事故対策の仕事をしていただくことになりました。ぜひ、みなさんも安全運転で、ご請求も多く群馬の宝を養育するようご協力いただければと思います。まだまだ、群馬のこと、ヤマネコのごことは勉強不足ですが、これからどんどん勉強して吸収していきたいと思っておりますので、温かく見守ってください。また、どこかで見かけたら是非声をかけてくださいわ。

アクティブ  
レンジャー：山中  
(出身地：兵庫県)



センターでは主に、交通事故対策などを担当します!!スポーツはラグビーが好きです♪

### 第7回ヤマネコ・クイズ1のこたえ

答え、ネズミ (ヤマネコのお好物は何でしょう?)

# 対馬の環 News



HPリニューアル



新しいHPはこんな感じです！

四月より対馬野生生物保護センターのHPがリニューアルしました。従来のHPの雰囲気を残しつつ、より見やすくなり、報告書やパンフレットデータなどの情報も充実させました。人気の職員日誌も継続していますので、新しくなったHPをよろしくお願いします！

お気に入り登録されている方やリンクを貼っていただいている方は、変更をお願いいたします。

皆さん、ぜひご覧ください！

新HPアドレス

<http://kyushu.mvs.go.jp/twce/index.htm>

野生復帰シンポジウム

平成二十三年一月二十三日、対馬市交流センターで「ツシマヤマネコ野生復帰シンポジウム」を開催し、約三二〇名の方にお集まりいただきました。

一人もツシマヤマネコも他の生きものも、みんな幸せに暮らす地域社会。そんな将来像を市民の方と考え、共有したい！そう思った思から、このシンポジウムは開催されました。佐渡市の高野宏一郎市長、豊岡市の中貝宗治市長より、トキ、コウノトリの野生復帰による地域活性化についてご講演いただき、対馬野生生物保護センターの水崎進介より、ツシマヤマネコの野生復帰事業の説明がなされました。その後、日本獣医生命科学大学の羽山伸一准教授にコーデイクネーターをお願ひし、佐渡市長、豊岡市長、対馬市の財部能也市長、ツシマヤマネコを守る会の山村辰美会長、環境省自然環境局の渡邊綱男局長によるパネルディスカッションが行われました。

佐渡や豊岡のように、対馬が自然と共生した島として元々輝き、いつの日か日本全国や世界に対する「人と自然との共生のモデル」となるよう、センターは、今後も地域とともに歩みたいと思っております！



講演の様子



パネルディスカッションの様子



退職のあいさつ

原口 豊華

「お世話になりました」



3月をもちまして退職となりました。センターでの仕事は交通事故対策がメインでしたが、その他にも野生復帰させたヤマネコの追跡、森づくり、エコツアーなどを経験させていただき多くのことを学ばせていただきました。また、活動を進める中で、地元の方々、関係機関の方々、センター職員等たくさんの方に支えていただき、本当に感謝しています。ツシマヤマネコ保護の現場からは離れてしまっていますが、これからも対馬とツシマヤマネコ保護活動を応援する一員でありたいと思っています本当にありがとうございました。

対馬での生活で嬉しかったことベスト3

1. 初めてネコまわりをヤマネコが使ったとき  
(まわりの嬉しさに一人カールパートの中で「ヤマネコやまー」と叫んでしまいました)
2. 地元の方に温かく接していただいたこと  
(本当に嬉しかったです。ありがとうございました。)
3. 大水で畑が潰され、もうダメだろうと思いながら植え直したミニトマトがたわわに実ったこと  
(トマトは水分を与えすぎるとダメだと聞いていたので、諦めていましたが一植物は強いです！)



センター用語

FIV…ネコ免疫不全ウイルス、FeLV…ネコ白血病 →どちらもイエネコ由来の病気。



# センター News

とらやまの森

No 52

2011

春号



★「とらやまの森」の記事は、利用者の皆さんから寄せられた写真やイラスト、お話を元に作成しています。

## イベント報告&情報

### —自然ふれあいイベント報告—

#### 1/23 アニマル・トラッキング

緑崎公園で動物の痕跡を探せ「アニマル・トラッキング」を開催しました。気持ちの良い青空の下、テンやヤマネコの糞やシカの食痕等、様々な動物の痕跡を見つけることが出来ました♪



ヤマネコの糞発見！

#### 1/28 木エクラフト教室

舟志の森自然学校で木エクラフト教室を開催しました。講師の古藤定さんの指導の下、対馬のヒノキを使ったなべしき、ストラップ、キーホルダー等、素敵な作品が完成しました☆



達人の手元に釘づけ！

### —総合学習報告—

総合的な学習の時間などを利用し、久原小学校、佐藤小学校の生徒さんがセンターに勉強に来てくれました！  
ツシマヤマネコの生態やヤマネコに迫る危機などを学び、ツシマヤマネコを大切に思う気持ちを新たにしてくれたのではないのでしょうか。



久原小学校 (2/4)



佐藤小学校 (3/23)

### —ツシマヤマネコを活用した学習のご案内—



エイチャーゲーム

対馬野生生物保護センターでは、ツシマヤマネコや対馬の自然を身近に感じてもらう為の環境学習プログラムを用意しています。主な対象は小中高等学校ですが、学校以外の団体も受け入れておりますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせください！今年度も沢山の皆さんとお会いできることを楽しみにしております♪



ヤマネコ生態レクチャー

お問合せ・お申込み先：0928-84-5577 (IP電話：334-5577)  
対馬野生生物保護センター 普及啓発担当 (一穂・村山)



ヤマネコ教室



交通事情レクチャー



糞分析体験



出張ヤマネコ教室

### ☆イベント案内☆

#### 5月15日(日) 春の植物観察～御岳散歩～

上島一の山、御岳を講師の園分先生と一緒に歩きます♪

時間：10:00～15:00  
集合場所：御岳公園



#### 5月12日(日) あじさい祭り de クイズラリー

クイズに答えて豪華景品ゲット☆センター見学ツアーも開催予定♪

時間：10:00～16:00  
集合場所：湯浜シーランドステージ



御岳散歩は保護料として100円頂きます(必ず納) ※お申込・お問合せは担当：一穂・村山まで！

### 編集後記

今回の発行で、今まで当たり前だと思っていた近しい人たちの存在の大切さ、ありがたさを強く感じました。23年度は今まで以上に人との繋がりを大切にしながら活動していきたいです。本年度もよろしくお願ひします☆



もの生べ田方 い慣りで ガのる水型  
な貴さて人も見ま種ス 対工主添場ニ  
つ食物くび多たすにト環ルガしての二十  
まな\*れのい目 指で境のすン々に'節四  
い食やる害でが 定準者'の'マ'鳴聞鳥幸一  
まべマ犬虫す草 さ絶し'園'マ'鳴聞鳥幸一  
す物ホ毒をが手 れ道ッ有 アきこ内一  
にコな食'々 て急ド種 カ声えの登

ツシマ  
アマガ  
エール

### 休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は閉館し、その翌日が休館日となります。



# とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

2011 夏号  
NO.53



雄町志多賀→上対馬町檜滝(♂)



移動しました!!

## ヤマネコ 続々野生復帰中!



ヤマネコの野生復帰、続いています

四月十八日に雄町志多賀(三浦林道)で野生復帰したツシマヤマネコの産成獣が、五月に入り上対馬町檜滝(弓の原)の国道上で飯塚に目撃されるようになり「なんと放獣地点から山を越え、遠く離れた檜滝までやって来たようです。健康状態は良好で、長席の影響も無いようですが、現在ヤマネコがいる地点は過去にも事故が起きた交通事故危険区域です。多くの方から路上での目撃情報寄せられています。交通安全が非常に心配されています。このような現状から、センターでは、標識に移動式看板を設置しました。見かけた際には、減速運転をお願いします。

センターからはその他にも、保護されたヤマネコたちが続々と野生復帰しています。六月に一頭(上対馬町河内)、七月に一頭(上対馬町舟志)がそれぞれ野生復帰しました。いずれも、復帰場所付近には交通量の多い道路が通っています。復帰場所付近にも檜滝と同様の移動式注意看板を設置していますので、いつヤマネコが飛び出しても大丈夫なように、看板設置箇所付近では、より一層の注意をはらって走行してください。

島民の皆様のご協力を頂き、保護されることで命をつなぐことが出来たヤマネコたち。今度是对馬の自然の中でも生きていけるよう、みんなで見守っていききたいですね。

また、放獣されたヤマネコ達には調査のための首輪が付いています。首輪の付いたヤマネコを見かけた方は、センターまで目撃情報をお寄せください。

# やまねこ News

## 野生復帰後の モニターリング調査

センターでは保護されたヤマネコが元気に  
なった場合は、保護された場所付近の山  
中に野生復帰させています。さらに、その  
後は追跡調査を行いヤマネコの動きを確認  
しています。また、定期的に捕獲調査も行  
い、直接見ないと分からないヤマネコの健  
康状態などを検査しています。

昨年四月から今年六月までに七頭の野生  
復帰と追跡調査を行い、捕獲調査はのべ十  
回行いました。

特に一昨年の冬に豊玉町仁位で保護され  
たオスの若いヤマネコについては、昨年四  
月に野生復帰させてから一年間にもおよぶ  
追跡調査と六回の捕獲調査を行ってしまし  
た。野生復帰したヤマネコの生存を一年以  
上も確認できることは大変珍しいことで  
す。このヤマネコは野生復帰後、豊玉町仁  
位から移動していき、やがて豊玉町榎崎周  
辺に定着しました。この地域には他にもオ  
ス二頭とメス一頭のヤマネコが確認されま  
したが、四頭は互いあまり重ならないよ  
うな範囲で生息していることが分かりまし  
た。

センターでは今後も野生復帰後のヤマネ  
コのモニターリング調査を行い、野生復帰し  
たヤマネコの生存を確認するだけでなく、

今後のヤ  
マネコ保  
護活動に  
役立ちつ  
たデータ  
を集めて  
いきたく  
ています。

と考  
えたい  
ていま  
す。



豊玉町ヤマネコ生息地図

## ヤマネコ、犬にかまれていた

昨年十二月に上県町佐護の国道で収容し  
たヤマネコ（早成獣）の死因は、当初は交  
通事故だと考えられていましたが、詳しい  
検査により犬に咬まれていたことが分か  
りました。飼い犬は必ず繋いで下さい。ま  
た、野犬がいた時には活性化センターに通  
報していただくようお願いいたします。

## 仔ヤマネコ、 誕生するがまもなく死亡

福岡市動物園では四月末に一頭の仔ヤマ  
ネコ（♂）が生まれましたが、残念ながら  
数日後に死亡しました。飼育下ではここ二  
年間仔ヤマネコが育つておらず、仔ヤマ  
ネコが無事に生まれて育つように様々な工  
夫を重ねています。

## ヤマネコ保護・死体収容

七月四日夕方、佐護に動けない仔ヤマ  
ネコがいるという通報があり、保護して治療  
を行いました。衰弱が激しく五日の朝死亡  
しました。また、六日には鹿見で仔ヤマ  
ネコが死亡しているのが見つかりました。死  
因は不明ですが栄養状態が  
悪く衰弱していたと考え  
られます。

今回の二頭は救命でき  
ませんでしたが、弱って  
いるヤマネコを見かけた  
方はセンターまでご連絡  
下さい！



保護された仔ヤマネコ

## 職員日誌⑭ 展示室に『くつろぎコーナー』

2010年4月に新しくなったやまねこセンターに「くつろぎコーナー」が  
出来ました。来館者の皆様に楽しく遊んでもらえるように、本棚にはヤマネコ・  
対馬・自然・環境などの本がぎっしりと並んでいます。生き物展示としては、  
夏限定のクワガタなど季節を感じさせる生き物や、自然の中ではヤマネコの餌に  
なるアカネズミ・ヒメネズミ、その他にもメダカやツリマサンショウウオなどが  
展示されており、家族・子供・大人も楽しめるスペースです。

丸いテーブルには、折り紙・スタンプ・ペ  
ーパークラフトコーナーを設けていますので、皆さ  
ん是非遊びに来てください。何度も来館された人  
達にも楽しめるように常に何か新しい展示を考  
え、更新したいと思っています。アンケート用紙  
も用意していますのでご意見ご感想を宜しくお願  
いします。

受付に「阿比留」がいますので、気軽に声をか  
けてください。



クワガタと遊ぶ子供達

嘱託職員：阿比留  
〈出身地：対馬市〉



普段は、ビジターセン  
ターの来館者対応をして  
います。趣味はドライブに  
買い物♪

## 第9回ヤマネコ・クイズ!

現在、センターで公開しているヤマネコの名前は何でしょう?

# 対馬の環 News



## 自然学校へようこそ♪

「ツシマヤマネコと共生する地域社会づくり」のモデル地区になっている舟志区の近況をお知らせします。

舟志区では、廃校となっていた日舟志小学校の校舎が改装され、対馬市自然体験施設「舟志の森自然学校」としてリニューアル！以前の学校の雰囲気はそのままに、休憩室や喫茶室、作業部屋等を設け、地元の人材・文化・人材を活かした「エコツアー」の拠点施設としての役割が期待されています。郷土料理教室や木工クラフト教室、農業体験等、舟志区に暮らす皆さんが先生となつた体験プログラムも企画されていきますので、是非お立ち寄りください！

舟志の森と連動したヤマネコ教室もお楽しみ！

ブログ・ <http://sizensakko.exblog.jp/>  
TEL・ 0920-86-2952



学校の中(休憩室)

舟志の森自然学校



舟志の森自然学校  
パンフレット

## 田んぼの学校開校♪

ヤマネコセンターではヤマネコの生息環境の一つである田んぼを守る取り組みを行っています。五月二十一日に田の浜地区で「対馬ヤマネコ田んぼの学校」が、五月二十七日に佐護小学校で「田んぼの学校」が、例年通り開校しました！

生徒たちは、田植えなどのお米作りの作業を通して、お米の大切さを学んでいました。



佐護中田んぼの学校



対馬ヤマネコ田んぼの学校

## 生き、物に優しい米作り♪

佐護区でも、人にも生き物にもやさしい減農法のお米づくりをはじめ、三年目となりました。今年も去年より大幅にヤマネコ米田んぼが増え、佐護区の水田面積の約四分の一になりました。六月十四日に一回目の生き物調査を行いました。冬期湛水二年目の田んぼでは、他の田んぼとは違う特徴がみられるようになってきました。また、ヤマネコ米認定田の看板が色々などころに立っていたり、魚道やビオトープが設置されたりと少しずつ活動が本格化してきました。七月六日には、初めて佐護小学校の「田んぼの学校」と合同で生き物調査を行いました★



第7回生き物調査

## 対馬市鳥おこし協働隊生物多様性保全担当



対馬市鳥おこし協働隊 第11回

## 対馬の守人

## 木村 幹子さん

6月から鳥おこし協働隊の生物多様性保全担当として上島地域活性化センターに赴任しました。出身は香森です。ツシマヤマネコや対馬馬、美しい山々や海や草原や田園風景、そうした対馬の魅力ある自然を、先の世代まで伝えていくために活動しています。

生物多様性とは、一言で言うと「自然の恵み」です。木を切って畑をとり、田では米を、山ではそばや芋を作る。森ではシカを、海では魚や海藻をとり、草原では牛や馬に草を食べさせる。場所によって生える草木や生息する動物が違うので、人々の暮らしも違います。対馬の人々はこうした自然の恵みを上手に活用しています。

私は今、佐護に住んでいますが、自分たちが食べるもの、使うものは何でも（住居の木材さえも！）自分で手に入れることができる。都会の人たちにはできません。そんな暮らしを可能にしているのが生物多様性なのです。ツシマヤマネコは、対馬の生物多様性の象徴です。これまでずっとそうだったように、これからもずっと、人とヤマネコが仲良く暮らしていける島であってほしいと思います。

趣味は剣道とマラソン。週末は佐護の小中学生と剣道を楽しくしています。国境マラソンにも毎年参加する予定です！どうぞよろしくお願ひします。（木村 幹子）



## センター用語

魚道・・・魚が自由に入出入りできる水路。  
ビオトープ・・・さまざまな生き物が住めるように作った水辺。

# センター News

とらやまの森

No 53

2011

NOV 2011



★ 動物愛護週間イベント開催のお知らせ

## イベント報告&情報

—自然ふれあいイベント報告—

### 5/15 (日) 春の御遊散策

講師の園分先生と、春の御遊で植物観察を行いました。ツシマサンショウウオの産卵や、環天頂アーク等、植物以外にも嬉しいハプニングに恵まれ、楽しいひと時を過ごすことが出来ました!!



サンショウウオ観察中!

### 5/12 (日) おじさい祭のクイズラリー

今年もおじさい祭りにお邪魔しました。雨天にもかかわらず、沢山の方が参加してくださいました! バックヤードツアーも大盛況!!  
また来年も、皆さんのお越しをお待ちしています!!



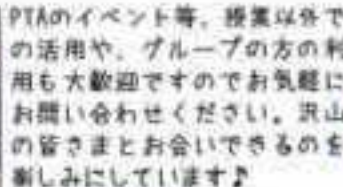
全問正解出来たかな?

### —ヤマネコ教室報告—

7月までに6つの小中学校の皆さんがヤマネコ教室を利用して下さいました。やまねこレクチャーのほか、調査体験やネイチャーゲーム等々様々な形でヤマネコや対馬の自然の面白さを感じる体験学習を実施しています!!



久田中学校



PTAのイベント等、授業以外での活用や、グループの方の利用も大歓迎です!!



巖原小学校



峰東小学校学級レク



久原小学校



佐瀬小学校学級レク



今里中学校

### ♪ 職場体験 ♪

7月5日～7月6日、職場体験として佐藤中学校から2名の生徒さんを受け入れました。ヤマネコの飼育の手伝い、田んぼの風通し設置、田んぼの赤松の生き物調査、ヤマネコ調査、お客様の対応等、様々なセンターの業務を体験してもらいました!!



ヤマネコ調査体験中!

### —イベント案内—

#### ○ 動物愛護週間イベント ○

9月24日 (土) 13:00～ 巖原体育館  
ウサギやモルモットとの触れあい体験や対馬の生き物体験等、楽しいイベントが盛り沢山の予定です!! 是非遊びに来て下さい!!



### 移動ツシマヤマネコ展、貸し出します!

やまねこセンターでは、より多くの方にツシマヤマネコについて知っていただくためにイベント等で使えるパネルやグッズを無料貸し出しています。  
興味のある方は是非センターへご連絡ください!!



ツシマヤマネコを飼っているヤマネコみっすたらー

ヤマネコ相談ダイヤル

0920-84-5577

※毎日24時間受付しています。

### 編集後記

毎日暑い日が続いておりますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか? ヤマネコたちは暑い日には池で水浴びをしています。水分をしっかり取って、日射病には気をつけましょう。



今日は一枚  
ツシマヒラタク  
ガの幼虫が  
孵化した  
ツシマヒラタク  
ガの幼虫が  
孵化した  
ツシマヒラタク  
ガの幼虫が  
孵化した  
ツシマヒラタク  
ガの幼虫が  
孵化した

### 休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は閉館し、その翌日が休館日となります。

# とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

2011 秋号  
NO.54



## 動物園↓下島

### 野生復帰事業、本格始動!

下島のヤマネコの絶滅を避けるため、動物園で生まれたヤマネコを下島で野生に帰す「野生復帰事業」を新たに始めます。

しかし、帰すといっても、動物園で生まれたヤマネコは生き餌の獲り方など、野生で生きていく方法を知らないため、訓練が必要です。また、野生復帰をするためには、下島の環境をヤマネコが棲みやすいものにしてゆく事も重要です。そこで、野生復帰のための訓練や取組み等を実施する拠点施設として、厳原町の鮎もどし自然公園の一部に「野生順化施設」の建設を予定しています。

動物園で育った哺乳類を野生に帰す事業は国内初の取り組みで、訓練は慎重に行う必要があります。そのため野生順化施設では皆様にヤマネコを直接お見せすることはできませんが、モニターで訓練の様子をご覧頂くことができなにか検討を進めています。

ツシマヤマネコに関連した取組みが対馬全島に広がり、全国的な知名度も上がることで、上島の対馬野生生物保護センターへの来館者や、島内外で対馬を応援してくれる方が増えることを期待しています!また、上島でもこれまでの取組みをさらに発展させてゆきたいと考えています。

環境省では、ヤマネコを守ることで対馬の社会全体が活性化することを目標としています。今後も、人もヤマネコも住みやすい社会を対馬全島の皆さまと一緒に模索してゆけたらと思いますので、どうぞよろしくお願ひします!



まだまだ謎だらけ！  
ヤマネコの行動の不思議

春から夏にかけて若い三頭（オス二頭、メス一頭）のヤマネコが野生復帰しました。野生復帰する際は保護された場所近くの山で放獣しますが、野生に帰った後の動き方はそれぞれ違います。

四月に峰町志越で野生復帰したオスは、放獣直後は大きな移動はせずに志越周辺で暮らしていましたが、放獣から一ヶ月後、突然姿を消し、一週間後になんと上県町仁田に出現しました。その後は落ち着いたようで、現在も仁田周辺で暮らしています。

一方、六月に上対馬町河内で野生復帰したメスは落ち着いた様子で大きな移動は見られず、三ヶ月経った現在も河内周辺で暮らしています。

八月に上対馬町舟志で野生復帰したオスは活発でした。放獣直後から大移動し、たった二週間で上対馬町五根緒へ大増し、浜久須へ津和へ網代へ大浦と渡り歩いたのです。

ヤマネコは単独で暮らす動物なので、親離れした後は住み処を求めて放浪すると考えられています。そのため、野生復帰したヤマネコもこのような大移動をしたのだと思います。

が、移動を始めるタイミングも行き先もまだまだ分からないことだらけです。今後も野生復帰後のモニタリング調査を継続して様々なデータを収集してゆきたいと思っています。

元気にやっています。



交通事故にご注意！

毎年、春と秋に参加している交通安全キャンペーンに加え、夏のキャンペーンにも参加してきました。当日は、「ツシマヤマネコの着ぐるみ「つばき」と「ろくべえ」も参加してくれ、参加者全員で、ヤマネコにも優しい安全運転を心掛けていただくようお願いしました。

これからのシーズンはヤマネコの交通事故が一段と多くなります。昨年度は十月以降三件の事故が発生しています。ゆつくり走ることに加え、道路脇で光る物を見つけたら一度減速してみてください。それはもしかしたら、ライトに反射したヤマネコの目かも知れません！

また、十一月十五日に「ヤマネコの交通安全展」を開催します。この展示では、ヤマネコの交通事故の現状や、どうすれば交通事故が防げるのか、など様々なことを知り、考えたりすることができると展示にしようと考えています。ぜひ一度センターまでお越しください。お待ちしております！

安全運転よろしくね！



## 職員日誌⑮ 展示室に『U字溝出現』



センターが展示改修を終えて1年6ヶ月が過ぎました。来館者の方から「センターがきれいになった」「展示品が見やすくなった」とお褒めの言葉をよく頂きますが、来館者の方から愛通されているように見受けられるコーナーがあります。それが「カルバート通り抜け体験コーナー」です。カルバートとは、水路や道が道路と交差する時に設置される地下道のことです。今年の夏は、ツシマヤマネコ応援団、センター職員、実習生でカルバートの清掃作業を行いました。

秋は、今年の春に生まれたヤマネコが親離れをし移動します。このカルバートを利用して交通事故に遭わないように願っています。

センターに来館された時は、ヤマネコになったつもりで、カルバートの中を走ってみてはいかがでしょうか？



カルバートコーナー

対馬市嘱託職員：田代  
(出身地：対馬市)



センターでは主に、来館者対応をしています。趣味は、消防の活動です。

第9回ヤマネコ・クイズの答え！

答え。福馬（現在、センターで公開しているヤマネコの名前は何でしょう？）

# 対馬の環 News



日本各地から  
学生が集まった二十日間！

センターでは毎年、主に自然環境保全や野生生物保護などに興味のある学生を対象にした実習を行っています。今年も八月二十日と十一日と十六日と二十五日の期間中、計十名の学生を受け入れました。

学生達はヤマネコについての勉強だけでなく、ヤマネコのブースを出展したり、ツシマヤマネコ応援団の皆さんと作業をしたり、舟志の森自然学校のお手伝いをしたり、様々な事を体験しました。後期実習には島内の先生方も研修として参加して下さり、お互いに良い刺激になったようでした。

十日間の実習を終えた実習生達は、人とヤマネコの双方が対馬で暮らせるようになるにはどうすれば良いか、十人十色の想いを抱えてそれぞれの場所に帰っていききました。今後は各地で、強力な対馬&ヤマネコのサポーターになってくれるはずですよ。実習生達を暖かく受け入れて下さった皆さま、本当にありがとうございました！



おどろき祭り(ヤマネコ版)の様子



レクチャーの様子

田んぼだより秋

暑い夏も終わり、田んぼは収穫シーズンを迎えて大忙しです。センターではヤマネコの生息環境の一つである田んぼを守る取り組みを行っています。

佐護区でも、減農薬の田んぼでの収穫がはじまっています。八月二十二日と九月二十一日には生き物調査を行い、田んぼにどのような生き物がいるかを調べました。

去年と比べて、全体的に害虫も益虫も少ないように感じられました。また、七月に設置したビオトープと水田魚道には、週上したメダカやフナの子供たちがたくさん泳いで賑わいを見せています。

今年もたくさん発見があった田んぼの活動ですが、この発見を、より多くの人たちに知ってもらえるよう、来年も更に活動に力をいれたいと思います！



水田魚道とビオトープで生き物探し



どれどれ？どんな虫がいるかな？



サレンジャー  
山本ゆづく

第12回

## 対馬の守人

対馬  
トレーナー

しのほら  
篠原

ゆみえ  
由美恵

さん

十歳で馬と動物に関わる仕事をしていて、乗馬指導者の講習会で「対馬馬の調教師募集」と聞いて「何故か」魅かれ、対馬にやってきました。現在、上県町の日保呂ダム馬事公園で、生産・育成・調教から体験乗馬やレッスン、10月16日の初年祭に向けたジョッキー育成など忙しい日々を送っています。対馬馬は「人情こく、人見知りしない、感情豊かで賢く、多くの可能性を持った素晴らしい馬」けれど、島内には約30頭しかいなくなっていました。

この対馬の宝を守るには、まず皆さんに対馬馬の存在を知ってもらうこと。見た・触った・乗った、何でも良いから触れ合ってもらいたい。そのため、希望する学校や高齢者施設を馬と訪問し、子ども達が馬と仲良くなったり、お年寄りが馬と触れ合い、音を懐かしんでもらえる機会をつくることも検討しています。また、全国的な知名度の向上も大切です。この秋にはアサヒビールから対馬馬振興会への寄付も決まり、保存活動に弾みがつくと期待されています。

お休みの日には、スキューバダイビングや愛犬との対馬探検ドライブを楽しみ、自然たっりの暮らしを楽しんでいます。温かい対馬の人たちと、とにかく綺麗な海が好きです。「動物が好き、スポーツを始めたい、趣味を持ちたい、リフレッシュしたいなせ、乗馬には多くの魅力があります。対馬の皆さんが対馬馬を知り触れ合い、出来れば乗ってもらえたら、と願っています。それが対馬の未来に繋がります。」



あそびに来てね！

日保呂ダム馬事公園  
0710-85-1111(月・水休)

### センター用語

モニタリング調査・・・野生復帰後にヤマネコが元気に暮らしているかを確認すること。

# センター News

## イベント報告&情報

—自然ふれあいイベント報告—

### ☆対馬の大自然観察会☆

—アカハラダカと縄文の森とツシマヤマネコ—  
9月17日(土)、対馬観光物産協会厳原支部と合同で、自然観察会を開催しました。センター職員による龍良山林道の観察会、観光物産協会による里地散策と、非常に充実した一日でした♪



赤米の里、豆飯炊き♪



チョウセンヤマアカガエル、発見!!

### ♪ヤマネコ教室♪



東進衛星予備校



日本大学



比田勝小学校

出張講座も実施中♪



武蔵高校



鳥取農業高校

やまねこセンターでは、島内外の方を対象に、ツシマヤマネコや対馬の自然への関心を深めてもらう事を目的とした「ヤマネコ教室」を実施しています。

### ♪捨てペット防止キャンペーン♪

今年の夏も、「捨てペット防止キャンペーン」を実施しました!!学生さんやつばきちゃん達も、応援にかけつけてくれました。ペットは最後まで責任を持って飼ってくださいね☆



スーパータケスエにて



アリラン祭りにて

### ♪ヤマネコ展、開催しました♪

今年は、厳原町で行われた「アリラン祭り」と、上対馬町で行われた「おっどん祭り」の二つのお祭りに移動ヤマネコ展ブースを出展させていただきました!!



アリラン祭り



おっどん祭り

### 編集後記

夏も終わり、過ぎしやうい季節となりました。スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋…皆さんはどんな秋をお過ごしですか?私は手芸で、秋の夜長を楽しむ予定です。



今日の一枚  
「ママシに出会う」  
二カ月前ほど前が  
ら、健康の為に三〇  
分くらいの軽いウオ  
ーキングを始めたし  
て、同じ時刻に合わ  
せて歩くようになった  
一日の初めがママ  
シに出会いました。こ  
ろどピクニックとこ  
ろ形の場所がママシ  
特徴です。対馬に蛇  
は三種類いる。ママ  
シもそのうちのママ  
シです。

### 休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は閉館し、その翌日が休館日となります。

とらやまの森  
No 54  
2011  
秋号



★

「とらやまの森」の記事を引用される際には、「出典」として「とらやまの森」で検索し、記事のURLを明記して下さい。



# とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

||  
 2012 冬号  
 NO.55

全国各地で  
 がんばってます!!



## ヤマネコ飼育園、拡大!

昨年十月・十一月にヤマネコを飼育している動物園及び対馬野生生物保護センターの間で、飼育個体の移動が行われました。西海国立公園九十九島動植物園では対馬と福岡から新たに三頭を迎え、他のヤマネコとの相性などをみながらペアリングを行っています。

現在、ツシマヤマネコは一ケージで一頭を飼育しており、一つの動物園で飼育できる頭数に限りがあります。そのため、高齢や兄弟が多いなどの理由で繁殖に参加できない個体を受け入れる園が必要になりました。

また、ヤマネコの保護活動には日本中からの支援・協力が必要です。動物園には、万一対馬のヤマネコが絶滅しても、ヤマネコが生き残れるように一定数を飼育するほかに、対馬とヤマネコのおかれた厳しい状況を来園者に伝え、島外からの支援の輪を広げることが期待されています。

今回の移動によって、沖縄こどもの国、名古屋市東山動物園、盛岡市動物公園でツシマヤマネコの飼育と公開が始まりました。これまで協力いただいていた五園とあわせて、年間約五五〇万人がツシマヤマネコのいる動物園に來園することになります。

秋には七つの動物園で「ツシマヤマネコ公開式」や「ツシマヤマネコ祭り」が開催されました。ヤマネコに関する講演のほか、対馬の自然や文化の紹介、物産品の販売・紹介などが行われ、動物園を訪れた多くの方で賑わったそうです。

移動したヤマネコたちには、「まぐろ」「沖調」「ひなた」(名古屋)、「ツシマル」(盛岡)という愛称がつけました。それぞれの場所では対馬とヤマネコの親善大使として活躍してくれることと思います。

# やまねこ News

## 下島でヤマネコ撮影成功

昨年十二月末、対馬市民の方から下島北部（美津島町黒瀬）でヤマネコの撮影に成功したとの連絡をいただきました。下島のヤマネコの確実な生息情報は一九八四年以降二三年間得られておらず、調査を実施してはいますが二〇〇七年以降六件しか情報がないため、今回の情報は大変貴重なものです。もし下島に生息するヤマネコの情報をお持ちの方は、ぜひセンターにご一報ください！

下島では他にも自然公園に建設予定の野生動物施設の測量設計が進み、平成二四〜二六年度に建設予定です。野生動物施設では動物園から来たヤマネコを下島に野生復帰できるように訓練し、下島でもヤマネコが棲めるように様々な対策を実施していきたくと考えています。

下島のヤマネコに関する情報や  
お持ちの方へご連絡下さい！

TEL: 0920-84-5577

FAX: 0920-84-5578

対馬野生生物保護センター

下島で撮影されたヤマネコ



## 九十九島の展示ヤマネコ「たから」ケガをするも元気に

昨年十二月一日、西海国立公園九十九島動物園で、公開個体「たから」が隣家のアムールヤマネコと闘争して負傷し、右前足を切断する手術を受けました。

「たから」の経過は良好で、命に別状はありません。

センターとヤマネコ飼育園では二度とこうした事故を起こさないよう施設の見直し・補修等を行ってまいります。



## 仔ヤマネコの死因判明

昨年七月六日に上島町鹿見で死体で見された仔ヤマネコは、長崎県環境保健研究センターの検査により、イエネコの攻撃を受けていた事が分かりました。これまでもイエネコに襲われたり、

イエネコがもつ感染症にかかったヤマネコが保護されるなど、きちんと飼育されていないネコはヤマネコの生息に影響を与えています。ネコを飼っている方は、対馬市ネコ過正飼養条例に基づき、きちんと飼育して頂くようお願いいたします！



## 職員日誌⑬ 「星空に思う」

12月18日の暮暖月夜、皆さんはご覧になりましたか？この日は人工の明かりが少ない佐渡の田んぼまで出かけて、欠けていく月を眺めました。月を隠す地球の影のどこかに、自分の影も隠れているのかなと、不思議な気持ちになりました。

満点の星空は月夜以外にも見どころ満載。オリオン座にすばる、隠れた月を待つ間には流れ星。枕草子でも「星はすばる」と、美しい星の代表として書かれているすばるですが、最近では都会の明かりに負けて、綺麗に観察できる場所が限られてしまいました。綺麗な星空も、大切にしたい対馬の宝物だと思います。天体ショーと言えば、来年は金環日食。気が早いとは思いつつ、当日の天気が気になる、今日この頃です。



欠けていく月



望遠鏡で

事務補佐員：一條

(出身地：静岡県)



普及啓蒙と地域社会づくりを担っています。寒い季節は湯たんぽの手放せません。

第18回ヤマネコ・クイズ！

ヤマネコが活動する時間帯はいつでしょう？

# 対馬の環 News



内山盆地まつりに

参加しました！

十一月二〇日、厳原町内山区で開催された、「内山盆地まつり」に参加しました。

今年の内山の漬物のコーナーを出展し、田畑や炭焼き等、里山環境の維持がヤマネコにも大切だという事を紹介しました。農産物の販売や、山芋入りいり焼き等、お祭りは今年も大盛況でした。



## 舟志区 集落座談会

十一月二三日、舟志の森自然学校で「集落座談会」を開催しました。

今回は旅行会社日・I・Sの嶋島卓さんを講師に、自然や文化に触れるエコツアーの可能性についてのお話を聞いて頂きました。対馬の自然が十分人を呼べる魅力的なものだという確信が持てる場となりました！

座談会の様子



## イベント報告！

### ツシマヤマネコ

交通事故現場を樹植しました！

十一月一五日〜十二月二〇日、野生動物の交通事故にスポットを当てた特別展を開催しました。交通事故に遭った動物や現場の写真、事故多発地点を紹介し、来館者に注意をうながしました。設置したメッサージコーナーには、多くの方からヤマネコへのメッサージや感想を頂きました。



交通事故展の様子

### なんたらん

ファミステイバル、大盛況！

九月二四日、厳原で動物愛護週間イベント（対馬獣医師会共催）を開催しました！

約五五〇人が来場し、消しゴムはんこを使ったエコバッグづくり、ウサギやモルモットとのふれ合い、対馬馬の乗馬体験などを楽しみました。



動物愛護週間展示形式

### 見ると斬ると押す！

消しゴムはんこ教室

十二月一八日、インストラクターの松野さんを招き、消しゴムはんこ教室を開催しました。ヤマネコについて学んだ後、ヤマネコの消しゴムはんこを作りました。年末年始に大活躍した事と思います。



はんこ作りの様子

## 西部中学校 生徒のみなさん

## 対馬の守人



ゆるい山本やまねこ

第13回

「西部中学校はどんな学校？」と聞かれた時の生徒会長の言葉。「全校生徒25人の小さな学校ですが、愛にあふれた学校です。」少人数ながら、男子テニス、女子バレー、駅伝競技と運動面でもばりしい成績を誇っています。今年は文化祭でも力を発揮したいと、文化祭で全校劇に取り組みすることにしました。観ている人に感動してもらい、社会に貢献できる題材は無いかと考え、たどり着いたのが「ツシマヤマネコ」でした。劇にするからにはしっかりと学ぼうと、野生生物保護センターから講師を迎えてお話を伺いました。学校の近くでも交通事故でなくなったツシマヤマネコがいることや、ペットの猫や犬を大切に育てることがツシマヤマネコを守ることに繋がることを知りました。学ぶことで劇に取り組み気持ちがより深くなりました。

文化祭で披露した劇は「僕らのツシマヤマネコストーリー」。各学年の特質を生かしながら、学校や野生生物保護センター、江戸時代の嵯野を舞台に、歌や踊りを交えて演じました。劇は終わりましたが、西部中学校生徒にとって、ツシマヤマネコはとでも身近なものになりました。

ファミリーパークの浜にEM菌団子を入れて海をきれいにする活動や、学校そばの花壇に花を植え、道行く人に楽しんでもらう活動もしています。これからも、地域の皆さんに元気を届けられるよう、力をあわせて頑張ります。



僕らのツシマヤマネコストーリー

### センター用語

移動式看板：交通事故が発生した場所に看板を設置し、注意を呼びかけている





ヤマネコの事故、相次ぐ...

飛出し注意

平成23年度で既に**5**件!

- |       |        |                |
|-------|--------|----------------|
| 平成23年 | 10月04日 | 峰町三根           |
|       | 10月17日 | 上泉町佐護 (ミトド)    |
|       | 11月07日 | 上泉町佐須奈 (西津屋入口) |
|       | 12月25日 | 上泉町佐須奈 (大地)    |
| 平成24年 | 1月03日  | 上泉町佐護 (湊)      |

ツシマヤマネコ  
交通事故、六十件に...

ツシマヤマネコの交通事故は、統計を取り始めた平成四年から、わかってはいるだけで六十件に達しました。今年度は一月三日の事故で五件となり、統計を取り始めてから二番目の多さになっています。

事故に遭った個体は十二月二十五日の成獣を除き、すべて今年生まれの未成年で、健康状態も比較的良好な個体ばかりでした。交通事故がヤマネコに与える最大の影響は、事故にあつたヤマネコだけでなく、将来の子孫の命までも奪われてしまうことです。

現在、センターではヤマネコの交通事故が発生した場所付近に移動式看板を設置し、注意を呼びかけています。また、佐護の国道上で発生した事故現場付近では横断にヤマネコが目撃されていることから、春が来るまで看板を引き続き設置することにしました。付近を走行する場合は十分注意してください。

道路上の青白い光には要注意です。それはヤマネコなど野生動物の目かもしれない。車を運転される方は同乗者や歩行者だけでなく、ヤマネコにも優しい運転をお願いします。

ヤマガネコを飼っているヤマネコをみついたら

ヤマネコ緊急ダイヤル

0920-84-5577

※毎日24時間受け付けています。

編集後記

新年最初のとらやまの森はいかがでしたか? 楽しんで頂ければ幸いです。今年も楽しくまた活動をお願いします。この調子で春までがんばりたいと思います。



今日の一枚『薪ストーブ』  
ヤマネコセンターの冬の集物誌、薪ストーブに今年も火が入りました。今年の薪は、一昨年かけて乾燥したのでよく燃えます。風の強い寒い日は、薪ストーブで薪を燃やしていますので、センターに暖をとりに来て下さい。薪の良さを聞いて

休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日です。月曜が祝祭日の場合は閉館し、その翌日が休館日となります。

# とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

2012 番号  
NO.56

さようなら、No.1。

No.1のこども達



No. 12  
(トラジロウ)



No. 13  
(ひとみ)



No. 18



No. 25  
(リリー)



No. 28



No. 29  
(ヤマ)

No.1は公開ヤマネコではありませんが、飼育下繁殖に貢献し、決山のヤマネコたちを現してくれた功績を偲んで、センターでは記念台を設けています。みなさまからの決山のメッセージをお待ちしています！  
三月三十一日には、No.1の仔「ひとみ」が、西海国立公園九十九島動物園から京都府動物園に移動しました。京都府動物園では、四月二十八日にオープンする「もうじゅうワールド」で公開される予定です。お近くの方は、ぜひ会いに行ってくださいね！

高齢のため、平成二三年に対馬に里帰りし、センターで静かに余生を過ごしていましたが、まだまだ長生きできると思っていました。二月末に体調を崩してそのまま亡くなりました。  
No.1の仔、センターで公開している「福馬」は、係に当たります。  
福岡市動物園では繁殖に参加し、十三頭の仔をもうけ、そのうち六頭は現在も各動物園で元気に暮らしています。井の頭自然文化園で公開されている「トラジロウ」は、No.1の仔、センターで公開している「福馬」は、係に当たります。

三月一日、対馬野生動物保護センターで無育していた最高齢のヤマネコ、No.1が亡くなりました。十五才でした。  
このヤマネコは、ツシマヤマネコの飼育下繁殖事業に一番初めに加わったヤマネコです。平成八年七月六日に上尾町志多留で網に絡まっている所を地域住民に保護され、ツシマヤマネコを守る会の山村会長の協力のもと、福岡市動物園に送られました。

ありがとう、No.1！！



## 検査捕獲を実施しました！

昨年野生復帰させて再調査を行ってきた三頭のヤマネコ（峰町志茂で昨年四月に野生復帰したオス、上対馬町河内で昨年六月に野生復帰したメス、上対馬町丹志で昨年八月に野生復帰したオス）の検査捕獲を今年一月に実施しました。検査の結果、二頭のオスのヤマネコは野生復帰したときよりも体重が増え、健康状態も良好であることが確認されたため、捕獲地点付近で再び野生復帰させました。一方、メスのヤマネコは体重がやや減少していたため、しばらくセンターで様子を観察してから再び野生復帰させました。センターでは今後、引き続き追跡調査と検査捕獲によるモニタリング調査を実施していく予定です。



捕獲時の様子

## ヤマネコ野生復帰♪

昨年十一月十五日に上対馬佐賀の民家で犬小屋に迷い込んだところを保護された若いオスのヤマネコを、今年一月三〇日に保護地点付近の山中で野生復帰させました。約一ヶ月間の追跡調査の結果、このヤマネコは佐賀側の集落周辺で暮らしていることが確認され、二月二一日に佐賀側の民家の床下で首輪が切れて脱落した発信機を回収しました。現在は自動撮影カメラによるモニタリング調査を継続中です。



野生復帰したヤマネコ

## 死因はイエネコ？

二月十三日に上対馬町河内でヤマネコの死体が発見されました。上段で紹介した個体で、昨年六月に野生復帰し、センターでモニタリングを続けていたメスのヤマネコでした。体の咬み傷からイエネコのりんがが推定され、イエネコの攻撃で死亡したと考えられます。イエネコの攻撃で死亡したヤマネコはこれで二頭目です。ノラネコを増やさないよう、対馬市の条例に基づき、ネコをきちんと飼っていたかどうかお問い合わせください！



死亡したヤマネコ

## 保護されたヤマネコ死亡する

一月十二日に上対馬佐賀でヤマネコが保護されましたが、治療の甲斐なく十日午後三時に亡くなりました。藍成獣のメスで、非常に衰弱していました。

秋から冬は、凍り立ちしたヤマネコが倒っていることがありますが、そんなヤマネコを見つけたら、できるだけ早くセンターまでご連絡ください！



保護されたヤマネコ

## 「新職員あいさつ」 よろしくお願ひします 🐾

はじめまして。西野 雄一です！

この四月から水崎の係任としてやってきました。これまで、新宮（紀伊半島の下の方）、釧路、大塚、東京、広島と回って対馬にたどり着きました。まだまだ、右も左もわからない状態で皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、ツシマヤマネコをはじめとする対馬の自然環境の保全に少しでもお役に立てるようがんばりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

出身地：大阪  
家族：妻、子  
趣味：音楽

家族共々よろしくお願ひします♪



対馬の皆さんはじめまして！

四月から対馬野生生物保護センターで普及啓発と地域社会づくりを担当させていただく菅沼萌と申します。ずっと横浜で生活していたので、対馬の自然はとて新鮮です！色々分からないことだらけですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします♪

出身地：神奈川県  
趣味：イラスト  
特技：迷子

センターに遊びに来てね♪



第18回ヤマネコ・クイズの答え！

答え：夜間と夕方～明方の時間帯（ヤマネコが活動する時間帯はいつでしょう？）

# 対馬の環 News



## 舟志の森やまねこ音楽祭FINAL!

舟志の森づくりりと、舟志区の活性化を応援するため、有志によって開催されていたやまねこ音楽祭が、旧舟志小学校を活用した舟志の森自然学校の遊田開始を区切りとし、二月十一日に最終回を迎えました!

音楽祭ではつばきやろくべえも大活躍!大盛況のうちに幕を閉じました。

やまねこ音楽祭は今回で最終回となりましたが、森づくりや自然学校等、舟志での活動はこれから続きますので、今後ともよろしくお願ひします!



## 内山座談会を開催しました!

「内山」をキーワードにヤマネコとの共生を目指している内山区で、二月二〇日に集落座談会を開催しました。

内山盆地まつりでの漬物の試食券を振り返り、今後どの様に内山区を活性化していくかを話し合いました。



## ヤマネコ教室 実施しています!

やまねこセンターでは、対馬の自然に誇りを持つ子供たちの育成を目的に、「ヤマネコ教室」を開催しています。平成二十三年度はのべ二一校にご利用いただきました!

ツシマヤマネコに関するレクチャーの他に、ヤマネコの調査体験や、対馬の自然を愛しむゲームなどを実施しています。

受講料は無料です。出張講座等も行っています。総合学習や学級レク等、お気軽にご利用ください!



## 御嶽トレッキングを実施しました!

一月十五日、対馬観光物産協会と共催で御嶽のトレッキングを開催しました!参加者は清々しい空気の中、厳しい冬を生き残るための工夫を凝らした種子や冬井など、冬ならではの御嶽を楽しんでいました。



## 「異動のご挨拶」お世話になりました



対馬での三年間は、密度の濃い三年間でした。楽しい時も悩んだ時もありましたが、どれもかけがえのない経験です。

どんな時も地域の人達が優しく親身になって下さり、それがとても嬉しかったです。本当にありがとうございました!

事務補佐員  
普及啓発担当  
杉山



三年間お世話になりました。傷ついたヤマネコの保護からヤマネコに配慮したお米づくり・森づくりや動物園との協力など、沢山の方と仕事をさせていただき、気持ちを通わせることの大切さを強く感じました。皆さまからいただいた暖かい気持ちを胸に今後も別の立場から対馬を応援していきます。

自然保護官  
業務全般を担当  
水崎



対馬のすごさはヤマネコがいることではなく、ヤマネコが生きやすい環境があること、人の暮らしもその中にあることだと思います。対馬の豊かな暮らしがいつまでも続くことを願っています。四年間お世話になりました。ありがとうございました。

アクティング  
レンジャー  
獣医師  
山本



### センター用語

モニタリング調査: 野生復帰後にヤマネコが元気に暮らしているかを確認すること。



★「とらやまの森」の発行は、とらやまの森の自然環境を保全し、野生動物の生息環境を整え、自然環境の向上を図ることを目的として行っています。



馴化ケージ内イメージ図



視点施設イメージ図



全体イメージ図

### 野生馴化施設のイメージ図、完成♪

環境省では下島のヤマネコの絶滅を避けるため、動物園で生まれたヤマネコを下島の自然に帰す事業を新たに始めます。

動物園で生まれ育ったヤマネコは生きて餌の獲り方などを知らないため、野生で生きていくための訓練が必要です。また、上島で行ってきた取組みを下島でも実施し、下島の繁殖をヤマネコが積みやすいようにしていくことが必要です。

そうした訓練や取組み等を実施する拠点施設として、平成二四も二六年度に磯原町の駐もどし自然公園の一部に野生馴化施設を作る予定で、今回イメージ図が完成しました！

哺乳類を野生に帰す事業は国内初で、訓練は慎重に行う必要があります。このため野生馴化施設ではヤマネコを直接お見せすることはできませんが、モニターで訓練の様子をお見せしたいと考えています。

ツシマヤマネコ保護の取組みが対馬全島に広がり、全国的な知名度も上がることで、上島のやまねこセンターの来訪者や島内外で対馬ヤマネコを応援してくれる方が増えることを期待していますし、上島でもこれまでの取組みをさらに発展させたいと考えています。

これからもヤマネコを守ることで暮らしが豊かになる社会を対馬全島の皆さまと一緒に模索していけたらと思いますので、よろしくお願ひします！

### 今日の一枚 『ヤマシヨウウビン』

五月に渡って来る旅鳥のビバークは白く、腹はオレンジ色、黒い頭、青い頬、赤い口ばしが特徴で、とても目立つ鳥です。運が良ければ見れますが、昨年は目撃が少なかったです。今年こそはWに間に合うようにと、頑張って見たい一人です。



### 編集後記

春は出会いと別れの季節です。センターも、了名の別冊を2名の新刊が通ります。

### 休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は閉館し、その翌日が休館日となります。



# とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

ツシマヤマネコ交通事故防止啓発ポスター展やっます!!



ポスター展 開催場所

【交流センター】

11月13日～11月24日

その後スーパー等島内各所で展示予定です。  
 詳細が決まり次第ホームページに掲載します。



入賞者の方との集合写真♪



最優秀賞  
 大東きらり (大船越中学校)

敬称略



優秀賞  
 瀬川香菜 (大船越中学校)



優秀賞  
 梅野千寛 (厳原中学校)

皆さんおめでとうございます!!

七月から対馬市の小中学校に通う児童・生徒を対象に、ツシマヤマネコ交通事故防止啓発ポスターを募集し、島内各地から計七一枚のポスターが寄せられました。

ヤマネコの交通事故を防ぐことが出来るのは、私たちも含め、対馬に住む島民自身であり、それは大人も子どもも関係ありません。だからこそ、小中学生を対象にポスターを募集し、島民が島民に訴えることが出来る場を企画しました。

今回、このポスター展を企画した背景には、今後ドライバリーになる子どもたちが、早くからヤマネコの交通事故に関心を持つことで、将来的にヤマネコの交通事故を防ごうとする狙い、またポスターを描く子どもたちと一緒に、大人もヤマネコの交通事故について考えるきっかけ作りがあります。

残念なことには平成二四年度に入り、十月四日現在で既に四件のヤマネコの交通事故が発生しています。そのうち二件は、妊娠・出産を経験していたと考えられ、繁殖に大きく寄与していた個体であったと考えられます。残りの二件は、この春に産まれたと考えられる個体でした。おそろしく親から離れ、一人立ちをしていこうとした矢先の事故だったのでしよう。

今回ポスターを作成してくれた子どもたち以外にも、ポスター展をご覧になった方がヤマネコの交通事故に興味・関心を持ち、ヤマネコにも優しい運転を心がけるきっかけになるでしょう。そうなれば、ヤマネコの交通事故件数を少しでも減らすことが出来ると思います。その優しさに気付くヒントが、このポスター展に隠されていると思いますのでぜひ一度ご覧下さい。

ツシマヤマネコ交通事故防止啓発  
 ポスター展開催!!

# やまねこ News

## 下島で新たな生息情報入手！ 野生順化施設の工事始まる

下島では、平成十九年三月に自動撮影カメラよって、昭和五九年以来二三年ぶりに確実な生息情報が得られて以降、個体の保護や糞の確認により、少しずつですが生息情報が集まっています。

今回、平成二十四年五月一日に美津島町久須保、七月二十七日に同町黒瀬（城山）において採取した糞について、DNA分析の結果、ヤマネコのオスの糞であることがわかりました。



黒瀬（城山）では二年間で合計五件の確実な生息情報が得られており、同地域を中心とする下島北部でも、ヤマネコの生息環境が残されていると考えられます。

さらに、万間瀬戸と大船越瀬戸で分断されている久須保において糞が発見されたことにより、ヤマネコが阿瀬戸のいづれかを渡っている可能性が高いと思われるます。

一方、下島南部の鮎もどし公園では、飼育下で生まれたヤマネコを野生に戻すための訓練を行う施設のための工事がいよいよ始まります。本年度は事務所やヤマネコの治療などを行う建物の建築を行い、ヤマネコの訓練を行うケージについては来年度以降に順次整備されます。



鮎もどし公園

## ヤマネコの検査捕獲と野生復帰

昨年八月に上対馬町舟志で野生復帰させた若いオスのヤマネコの検査捕獲を今年八月に実施しました。このヤマネコの検査捕獲は今回で三回目となり、野生復帰から丸一年が経過した現在も元気に暮らしていることを確認して再び野生に帰しました。このヤマネコは一昨年に上対馬町舟志で保護されたセンターに運ばれてきたときは、身体も小さく自分で餌を食べることができないほど衰弱していました。今では大人のヤマネコと変わらないほど身体も大きくなりました。これからも野生下で元気に逞しく暮らして、多くの子孫を残してくれることを期待しています。

また、昨年四月に縁町志多賀で野生復帰させた若いオスのヤマネコは、今年七月に実施した四回目の検査捕獲の結果、体重が減少して痩せていたため、しばらくセンターで療養させることにしました。その後、順調に回復した様子が確認され、九月に再び野生に帰すことができました。

センターでは野生復帰させたヤマネコについて、今後も定期的に検査捕獲を実施して、健康状態等を確認していきたいと考えています。



療養中のヤマネコ



元気に頑張っています♪

## 「退職・異動・新職のごあいさつ」



### お世話になりました！！

飼育員として五年間センターに勤務をさせていただいた神宮です。あまり表にできることはありませんでしたが、この五年間たくさんの方々に支えられても充実した日々を過ごすことができました。たくさんの経験の中で学んだことを忘れずこれからも別の立場で応援していきたいと思っております。本当にありがとうございました。

飼育担当

神宮有梨奈



### 普及啓発からヤマネコ飼育へ…

今年の四月から普及啓発を担当していた笹沼です。十月から飼育業務を担当することとなりました！普及啓発のお仕事もやりがいのあるお仕事でしたが、これからは利のかたちでのヤマネコ保護活動に力を入れていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

普及啓発担当

飼育担当

笹沼萌



### 皆さん、はじめまして。

9月に着任しました國吉沙和子です。今までは埼玉県の動物病院に勤務した後、沖縄県国頭村にある環境省やんばる野生生物保護センターでアクティブレんジャーとして、ヤンバルクイナの飼育下繁殖、交通事故対策などに取り組んでいました。これから精一杯努めていきますのでよろしくお願いいたします。

アクティブレんジャー

獣医師

國吉沙和子



### 第11回ヤマネコ・クイズの答え！

ヤマネコの耳の後ろにある白い斑点の名前は、「虎耳状斑」です。

# 対馬の(環) News



## 運動会、頑張りました♪

九月二三日(日)、佐護小中学校で運動会が開催されました。

台風十六号の影響で延期になってしまった運動会でしたが、当日は見事な秋晴れとなりました。センター職員も、職域対抗リレーや綱引きで大活躍！リレーではつばきちゃんも一生懸命走りまわりました。つばきちゃんの感想です。

「ささ小中学校のうんどうかい、とっても楽しかったです。リレーは、すこしコースをまちがえてしまったり、短い足で走ったりするのはたいへんでした。でも、さごっ子のみんなが大きな声でおうえんしてくれたので、さいごまで楽しく走ることができました。おうちのひとたちのあいじょうがたっぶり入ったおべんとうも、おいしそうでした。大人も子どももいっしょにがんばっていて、とても楽しいうんどうかいでした。」

地域ぐるみで頑張っている、とても暖かい運動会でした。残念ながら、佐護小中学校は今年度いっぱい閉校してしましますが、今後も連携していきたいです。



佐護小中学校最前!



つばきちゃんリレー中!

## 生き物調査に参加しました その2

九月二〇日に佐護ヤマネコ稲作研究会(以下、研究会)の方と第四回生き物調査を行いました。

今回の生き物調査は、害虫であるウンカなどの数と、益虫であるクモ類の数を数え、農業の量や散布する時期の指標とするために行われました。減農薬を行っている試験田とそうでない慣行田の両方を調査地とし、今回も農家さんたちと一緒に調査を行いました。

試験田では害虫も多い分、益虫も生息していました。慣行田では害虫・益虫共にほとんどいないことが分かりました。

また、翌日にはツシマヤマネコの生息数を知るための調査、ライトセンサスを行いました。ツシマヤマネコが良く活動する夕方を狙い、研究会メンバーとセンター職員複数で車に乗り込み、ライトで田んぼの畦道を照らしながら、佐護平野を巡回しました。

今回の生き物調査とライトセンサスの調査結果をもとに、人にもヤマネコにも優しい米作りを目指していきます。



益虫であるイトトンボ

## 第2回 「黄金のしずくを求めて」



こんにちはちゃん山です。2回目の今回は対馬の自然が生んだ「黄金のしずく」つまり、はちみつです。「奈良公園に来てシカを見ないなんてありえない」と同じように、「対馬を訪れて、蜂洞を見ないなんてありえない」といっても過言でないくらい意識すればどこにでもある蜂洞。その中を見たいと思いつけ早1年、ようやくその夢がかないました。



これが噂の黄金のしずく

いよいよ当日、わくわくしながら現場に向かうとよくテレビで見るとよく見られるような被り物を手渡され、いざ現場に！そしてタバコの煙をかけながらゆっくりと蜂洞を開けると、そこにはハチの巣がぎっしり、中には見るも美しい黄金に輝いた蜂蜜が採っている最中からしたたり落ちるはちみつが放つ何とも言えない輝きに私は夢中になりながらずっと蜂蜜を採る手先を追いかけしていました。対馬の自然が生んだその黄金の輝きをこれからもずっと享受できるような環境が続いていけばいいな〜と、あまいはちみつをなめながら思うちゃん山でした。

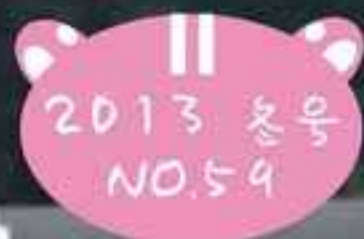
### センター用語

ライトセンサス・・・夜間にライトを使って野生動物を探ること。



# とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>



## 非常事態宣言、 再び発令。



平成24年度の事故件数

**15**件 (1/22現在)

ナガサシタリ 見ているヤマネコをみついたらー  
**ヤマネコ緊急ダイヤル**  
**0920-84-5577**  
※毎日24時間受け付けています。

携帯電話に左記の電話番号の登録をお願いします！

### ツシマヤマネコ交通事故

非常事態宣言を発令しました。

センターで統計を取り始めた平成四年以降、ツシマヤマネコの交通事故は、これまでわかっていただけで七五件発生しています。これまでの事故の最多件数は、平成一八年の八件で、それ以降は年間三〜五件の事故が発生していましたが、しかし、今年度に入ってから、過去の最多件数をはるかに上回る一五件の事故が発生しています(一月二日現在)。特に一月三〇日から二月七日までの八日間には五件の事故が発生し、異例の事態となっています。

過去に例がないペースで事故が発生している事、冬期は親離れした仔ネコや繁殖期のオスの行動範囲が広くなり、事故の危険性が高まる事等から、環境省、長崎県、対馬市は二月一〇日に「ツシマヤマネコ交通事故非常事態宣言」を発令しました。非常事態宣言の発令は平成二二年以来、二回目となります。

センターとツシマヤマネコ応援団では、非常事態宣言を受け、ヤマネコの飛び出し防止を目的としたワイヤーメッシュの設置、夜間パトロールの実施、交通事故防止キャンペーンでのビラ配り等、様々な対策を行いましたが、残念ながら、非常事態宣言発令後も四件の事故が発生してしまいました。が、一月一七日に発生した事故では、ヤマネコを轢いてしまった方から直接連絡を頂き、迅速に現場検証を行うことができました。このことにより、事故の発生要因の究明等、今後の交通事故対策に役立てることができました。

当事者からの情報は、今後事故で命を落とすヤマネコの数を減らすことにも繋がります。ヤマネコを轢いてしまっても、故意でなければ罪に問われることはありませんので、二四時間いつでもご連絡ください。

### 休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日です。月曜が祝祭日の場合は閉館し、その翌日が休館日となります。

# やまねこ News

## ヤマネコの錯誤捕獲、相次ぐ

昨年一月から一二月にかけて、鶏小屋やその周辺で錯誤捕獲されたヤマネコの保護が三件ありました。検査の結果、いずれのヤマネコも健康状態には問題が見られなかったため、再び野生に帰しました。

ヤマネコ以外にもテンやイタチなど鶏小屋に侵入しようとする動物は多く、鶏を襲った動物をワナで捕らえても、他の動物が次の被害を引き起こす可能性は消えません。最も大切なことは、動物が侵入しないように小屋を補強することです。

これまでも、鶏小屋被害は冬に多く生じています。小屋の戸締まりや隙間などの点検をお願いします。



餌回収されたヤマネコ

## ヤマネコの死体から咬傷跡見つかると

昨年一二月に、上対馬町河内の集落内でヤマネコの死体が発見されました。死体を調べた結果、首の咬傷（かみ傷）と口の中に残った獣毛（動物の毛）が見つかりました。咬傷および獣毛からはイエネコのDNAが検出され、このヤマネコはイエネコとの闘争により致命傷を受けたと考えられます。

昨年二月にもイエネコから攻撃を受けたヤマネコの死体が発見されています。イエネコもヤマネコも住みよい対馬のために、「対馬市ネコ適正飼養条例」の遵守をお願いします。



咬傷が見つかった死体

## 飼育ヤマネコ、移動しました。

ツシマヤマネコの飼育下繁殖事業は今年で十四年目を迎え、現在全国十施設で三四頭が飼育されています。

センターでは毎年夏頃から血縁関係や年齢、性格などを考えて繁殖計画を立て、秋には繁殖のために、ヤマネコが動物園間を移動します。一月二九日に井の頭自然文化園と九十九島動物園の各雄一頭を移動・交換しました。春には、かわいいうヤマネコの赤ちゃんが誕生する事を期待しています。



提供：井の頭自然文化園 No. 11 (井の頭→九十九島)



提供：九十九島動物園 No. 58 (九十九島→井の頭)

## 動物園のヤマネコイベント

動物園では、ツシマヤマネコの生態や絶滅の危機にある現状を、全国のみんなにもっと知ってもらおうと様々なイベントを開催しています。今回は九十九島動物園と京都市動物園で開催されたイベントをご紹介します。



九十九島動物園 ツシマヤマネコガイド



京都市動物園 やまねこ博覧会

## 職員日誌⑱ 「もうすぐ1年」

気がつけば、対馬に来てもうすぐ1年になります。前任地広島とは全く違う環境に戸惑いながらも、たくさんの方に助けられて何とかやってこれました。

対馬に来て良かったことの一つは、おいしい食材がたくさんあることです。新鮮な魚介類はもちろんのこと、椎茸や蜂蜜などの山の幸も対馬の大きな魅力の一つだと思います。

ちなみに、正月に帰省した際に持って行ったお土産が一番好評だったのは「塩わかめ」でした。食感がすばらしいとのことでした。



万間園地からの浅茅湾

自然保護管：西野  
(出身地：大阪府)



2013年

センターの業務全般を  
統括しています。  
対馬暮らし1年目、満  
喫中です!

第12回ヤマネコ・クイズ!

ヤマネコが交通事故にあいやすい時間帯は?

# 対馬の環 News



## 「田んぼの楽校」最終回!

佐護小学校では、地域の産業であるお米づくりと、田んぼが育む様々な生き物についての学習を目的に、平成二〇年度から「田んぼの楽校」を開催しています。センターでは、開催当初から生き物と田んぼの間わりを知ってもらうためのゲームや生き物調査等を計画、実施してきました。

稲刈りも終わった十月三〇日、「佐護ヤマネコ稲作研究会」が設置したビオトープ(生き物のための水辺)で、最後の生き物調査を実施しました。農業を使わず、年中水があるビオトープは、いつもの生き物調査以上の発見があり、子供たちは歓声を上げながら、水辺を探し回っていました。

一二月一三日には一年間の活動で学んだ成果の発表会と、採れたお米を使ったカレーライスの招待給食も実施され、全ての活動が終了しました。田んぼの害虫と益虫についてや、ヤマネコが生きていくのに必要なエサの量についてなど、個性豊かで工夫を凝らした発表に、保護者の皆さんも感心されていました。

佐護小学校は今年度いっぱいでの閉校が決まってしまうのですが、様々な体験が、佐護っ子たちのこれから活かされていく事と思います。今後も、様々な地域、学校との連携を図ってまいります。



工夫を凝らした発表会



生き物調査の様子

## 内山地区座談会を開催しました

厳原町内山では、ツシマヤマネコと共生する地域社会づくりを目指して、地区の方と協力しながら、里地・里山の活性化をテーマにモデル事業を実施しています。本年度は、ヤマネコブランドの脱臭炭の試験販売や薬草に関する調査を行いました。

また、一二月一七日には、座談会を開催し、今後の活動方針について意見交換を行いました。その結果、脱臭炭についてはデザインを改良する等して販路拡大を目指すこと、薬草については薬草園鑑を作成し、活用するという方針がまとまりました。



脱臭炭の試販中

## ツシマヤマネコマイスター講座

一月三日、舟志の森自然学校で、「ツシマヤマネコマイスター講座」のモニター講座が実施されました。ツシマヤマネコについて、島内外の様々な方に解説できる人の育成を目的にした講座で、ヤマネコについてのレクチャーの他、ヤマネコに優しい森づくりを実践している舟志の森を利用した実技等を実施しました。

参加者の皆さんからは、講座を受講する上で知りたい事等、有意義な意見を頂くことが出来ました。頂いた意見を参考に、より良い形を目指していきます。



マイスター講座の様子

## 第3回 「情熱の対馬縦断駅伝」



今回私が体験したのは、12月9日に行われた対馬縦断駅伝です。今回で第52回目となり、半世紀にわたって毎年対馬の冬を熱くしてきた大会です。その伝統ある大会に上県駅伝部の一員として参加させていただきました。昨年も参加させていただきましたが、右も左もわからない中での参加だったため、町の代表として走ることの重さを十分に理解できないまま大会をむかえ、そこまでプレッシャーを感じることはありませんでした。しかし、今年はその重さをより実感したうえでの大会だったため、かなりの重圧に襲われました。さらに、昨年とは違いメンバー争いも激しく、走るためにはライバルたちとの戦いに勝たなければなりません。そのためライバルたちにも恥ずかしくない走りをしていかなければならないという思いが大きな重圧になっていました。



上県駅伝部の仲間たち

いざ本番を迎えると見事にその重圧に押しつぶされ思うように走れませんでした。しかし、他7人が激走してくださり、なんとか町で2位と好成績を収めることができました。これは人だけでなく、上県駅伝部にかかわってくださったスタッフみんなの思いが一つになっていたからこそその結果だと思います。大会を終えて、仲間の大切さ、信じることの大切さを改めて知ることができ、勝手ながらまた一つ人間として成長できたのではないかと自負しています。では、次回お会いしましょう!

### センター用語

対馬市ネコ適正使用条例・・・平成23年より、対馬市によって制定されている条例。

主な内容：マイクロチップによる登録義務や室内飼育、不妊手術の推奨、ノラネコへのエサやりや捨て猫の禁止



ヤマネコの交通事故対策、島内各地で実施中!



対馬野生生物保護センター、ツシマヤマネコ応援団では、ヤマネコの交通事故防止を目的に、様々な活動を行っています。

交通事故防止キャンペーン&非常事態宣言チラシ配布



安全運転、よろしくお願いします!



非常事態宣言チラシ、配布中!

12月12日~14日、非常事態宣言の発令を受け、冬の交通安全週間に合わせて「ツシマヤマネコ交通事故防止キャンペーン」を実施しました。当日は交通安全協会の方々と一緒に、野生動物にも配慮した安全運転への協力をドライバーのみなさんにお願しました。

また、12月22日・23日には、タケスエ大浦店、ダイレックス対馬店でチラシ配布を実施しました。2日間で約600枚のチラシを配布し、多くの人に非常事態宣言について知ってもらうことができました。「安全運転しますね、頑張ってください」というエールをいただく等、私達も勇気をいただきました。

夜の交通事故防止パトロール

12月17日~19日の3日間、ヤマネコの交通事故が発生しやすい18時~20時までの時間帯に、上島各所で夜の交通事故防止パトロールを実施しました。

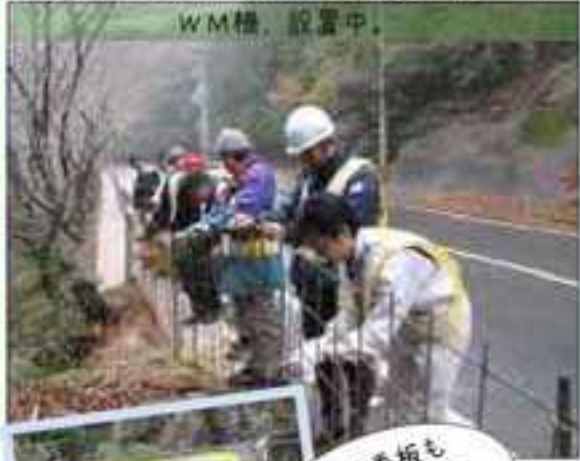
メンバーで分担し、1日3ルートを見回りました。期間中、道路上に出ているヤマネコを発見することはありませんでしたが、事故が多発する3月までは毎月3回程度パトロールを実施する予定です。

WM (ワイヤーメッシュ) 橋 実験的設置

ツシマヤマネコの道路への飛び出し抑止を目的に、獣害対策で広く用いられているWM橋を佐護~佐須奈間の国道2ヶ所の道路脇に設置しました。

ツシマヤマネコは、WM橋の網の大きさ(15cm×15cm程度)を通れる事が分かっており、今回の設置は道路側のヤマネコの通り道を塞がずに、ヤマネコが道路に飛び出すことを抑止する事を狙っています。

今回の検証で効果が認められた場合、随時各箇所を設置していく予定です。



WM橋、設置中。



こんな看板も付いています。探してみてくださいね!



土砂降りの中、多くの人にお手伝いいただきました!

編集後記

先日、飛び出してきたシカと衝突しそうになりました。野生動物との事故は、車の破損や怪我にもつながります。皆さんもお気を付けてください!



マナヅル

『鶴(ツル)』 今日の一  
毎年この季節にな  
ると、鹿児島県出水  
平野で越冬した鶴た  
ちが、北の繁殖地に  
向かう途中、佐護の  
田んぼ等に休憩の為  
に下りてきます。  
マナヅルは2月頃  
まで、ナベヅルは3  
月頃に渡って来ま  
す。  
過去に千羽を越し  
たこともあり、今年  
はどれくらい訪れる  
のか楽しみです。

※リサイクル紙の巻物・紙ヘリサイクル等 この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準に従い、印刷物の紙へのリサイクルに資した材料(クラフト)のみを用いています。



# とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

2013 春号  
NO.60



## 厳原事務室、ついに始動！！

鮎もとし公園内に  
厳原事務室開所！

四月一日、厳原町豆殿の鮎もとし自然公園内に、「環境省対馬自然保護官事務所厳原事務室」が開所しました。同日に行われた開所式には、地元住民や環境省、県、市の代表ら約五〇人が出席し、施設内を見学した後、入口に看板を取り付けました。下島では平成一九年三月以降、わずかながらツシマヤマネコの生息が確認されており、早急な対策が必要と考えられています。環境省ではこの危機的な状況を打開するため、動物園で繁殖したツシマヤマネコを再び野生に復帰させる「順化」をするための訓練施設（野生順化施設）の整備を進めています。

対馬自然保護官事務所厳原事務室は、野生順化施設の拠点として設置されたもので、環境省は新たな保護官を配置しました。保護官の名前は吉田裕司（よしだひろし）、入省三年目の新米保護官です。

今後は、下島でも今以上にツシマヤマネコの生息できる環境保全や普及啓発を進めていきます。また、今年度中に野生順化させるためのケージを六ケージ整備する予定で、体制が整い次第、動物園で繁殖したツシマヤマネコを受け入れていきます。

下島に住む皆さんが、ツシマヤマネコを当たり前前に見かける日がくることを目指して、新米保護官が島内を駆け回りまので、皆さんどうぞよろしくお願ひします！



市長と厳原事務室の保護官

### 休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は閉館し、その翌日が休館日となります。

# 対馬の環 News



電話で救える命があります！

平成二四年度、過去最多の一五件を記録してしまつたヤマネコの交通事故。非常事態宣言も発令される中、二頭のヤマネコが迅速な対応により一命を取り留めました。

一分一秒を争う救護の現場、その救命率は発見後どれだけ早くセンターに連絡が入り、治療を開始出来るかにかかっていきます。そこでセンターでは、救護体制を更に強化していく為、ヤマネコ緊急ダイヤルステッカー及び救護用段ボールを作成、配付する取り組みを始めました。

現在のところ、長崎県や対馬市、レンタカー会社、タクシー会社、バス会社など多くの機関にご協力頂いています。今後もこの輪を広げていきたいと思ひます。

携帯に登録してね！



ヤマネコの捕獲、放獣♪

今年三月、上対馬町豊の山中で若いオスヤマネコの検査捕獲を実施しました。このヤマネコは、二〇一〇年一月に上対馬町舟志で衰弱していた所を保護され、センターで治療し、翌年八月に保護地点周辺の山中で野生復帰した個体です。最初の野生復帰から約一年半が過ぎ、実施した検査捕獲も今回で五回目となりました。今回の検査では健康状態に問題は見られなかつたので、再び野生に帰しました。

また、二〇一二年一月二日に上対馬町芦見の鶏小屋周辺で錯誤捕獲により保護されたヤマネコは、同年一月下旬に野生復帰させた後、再び鶏小屋を襲われないか等、野生復帰後の動向をモニタリング調査しました。

その結果、このヤマネコは民家や鶏小屋周辺にはほとんど近寄る事なく、主に上対馬町芦見の山中で暮らしている事が分かりました。野生復帰から三ヶ月が過ぎた今年三月、このヤマネコの検査捕獲を実施して健康状態を確認する事ができた為、モニタリング調査は終了しました。



## 『新職員のご挨拶』はじめまして♪

今年度から事務補佐員として働かせて頂いています。高田清恵です。

初めて対馬に来て、対馬の大自然や島民の方々の心の温かさに触れる事ができ感動しています。これから仕事を通して沢山の方々と知りながら、対馬に少しでも貢献できればと思います。まだまだ未熟ですが宜しくお願いします。



初めまして！4月に雇任しました竹澤結希です。交通事故対策を担当させて頂きます。動物と自然が大好きで、この対馬で働ける事とても嬉しく思っています。まだまだ慣れない事、わからない事もあります。精いっぱい頑張りますのでよろしくお願い致します。



3月から事務補佐としてセンター勤務していただきます。阿比留早紀です。ツツシヤマネコ応援団の事務員としても活動させて頂いています。対馬出身なので地域の方々が気軽に声をかけて下さる様な元気と明るさもモットーにセンターと地域の方との架け橋になれる様頑張ります。宜しくお願い致します。



4月から原簿事務勤務になりました。3月まで仙台で働いていて、実家の兵庫県西宮市を飛び越えて対馬にやってきました。人生初鳥暮らし！獣医師免許を持っていますので、いつかはドリトル先生の様にヤマネコと話が出来るといいな。これから宜しくお願い致します。



### センター用語

非常事態宣言…ヤマネコによる交通事故が多く多発している現状を広く認知して貰う為県・市・環境省で発令。  
検査捕獲…ヤマネコが治療を受け、野生下で無事に生活出来ているかの確認の為行います。

# やまねこ News

## 佐護小中学校閉校式

明治二四年九月尋常佐護小学校として開校し、多くの人を世の中に送り出した佐護小中学校が、平成二五年三月二四日の閉校式を最後に、一二二年の歴史と伝統に幕を降ろしました。

三月二四日の閉校式には、佐護小中学校の卒業生をはじめ、地域住民、行政関係の方約四〇〇名が出席しました。

式典前には、お別れの会が実施され、当手を思い出しながら、涙を滲ませる方もおられました。

佐護小中学校の校歌は、昭和三九年三月三日に制定され、以来学校行事では、約四九年間歌い継がれ、佐護っ子は、この校歌に負けないよう伸び伸びと育ってきました。

佐護小中学校は、平成二五年三月三十一日をもって閉校し、四月から佐須奈小学校にバス通学します。佐護小中学校はなくなりりましたが、いつでも佐護っ子魂は、忘れないで欲しいです。



百周年記念の碑



佐護小中学校校舎

## 龍良山観察会を行いました♪

二月一七日にセンター主催で「植物観察会」龍良山散策会を開催しました。当日は、二人が参加し、対馬の植物に詳しい國分英俊さんをお呼びして解説して頂きました。自然の照葉樹林が残りの自然記念物指定天然記念物に指定された山原始林を龍良山原始林を散策し、スダジイの巨木などを楽しみました。観察を楽しくしました。



龍良山観察会

## 舟志でイベントを行いました♪

三月一〇日に住友大阪セメント、舟志区、対馬市、ツシマヤマネコ応援団で構成する舟志の森づくり推進委員会主催「舟志の森自然学校で自然と遊ぶ」イベントが行われ、ヤマネコに配慮した森づくりの見学や、舟志の森自然学校で行いました。ヤマネコも参加し、ヤマネコの生態や交通事故対策について解説を行いました。



舟志イベント

## 『退職のご挨拶』お世話になりました！

ヤマネコの交通事故防止対策を担当していました山中です。2年間という短い間でしたが色々な事がありました。その多くは楽しかった事や嬉しかった事です。残念ながら去年は過去最多の事故件数になってしまいましたが、その対策の際に、地域の皆さんが協力して下さる姿は私の大きな支えとなり乗り越えられました。

今後は、速く兵庫から全力で対馬の皆様に勝手ながら応援しております。本当に2年間ありがとうございました。また必ず遊びに来ます。



アクティブレンジャー  
山中 康彰

3年間、事務作業、環境教育、地域社会づくりと幅広い業務に関わらせて頂きました。大変な事もありましたが、やりがい、学びも多く得る事が出来ました。今後も対馬に残り、私に出来る事をお手伝いさせて頂こうと思っています。

現在「対馬とんちゃん部隊」をはじめ、北部対馬の活気溢れる若者達と、エコツアーを通じて魅力ある対馬の自然、文化を様々な方に楽しんで頂く為の活動を始めています。今後も、今までは違った形でツシマヤマネコや対馬の自然に関わっていきますのでよろしくお願いいたします。



事務補佐員  
一條 みろ

## 第12回ヤマネコ・クイズの答え！

答え、ヤマネコが交通事故にあいやすい時間帯は、薄明薄暮の時間帯。夕方や朝方のうす暗い時間帯に多く発生しています。

さまざまな交通事故対策、実施中！

交通事故防止キャンペーンを  
行いました♪

今年度も春の全国交通安全週間に合わせて、上島3箇所（上対馬町比田勝、上島町御嶽公園、峰町ハートランド）で、交通事故防止キャンペーンに参加してヤマネコの交通事故防止も呼びかけてきました。昨年度は過去最悪のヤマネコ交通事故件数となり、非常事態宣言も発令されました。今年度はヤマネコの交通事故が1件でも減らせるように、みなさんのご協力を宜しく願います。



しっかりレクチャーを聞いてます



交通事故キャンペーンの様子

ヤマネコ事故防止看板設置！



看板お披露目の様子

この看板をみたら  
ヤマネコに注意！



ヤマネコ飛び出し注意看板

3月20日に上対馬町比田勝にある青空市場前の広場の一角で、ヤマネコの交通事故防止啓発看板がお披露目されました。この看板は、ヤマネコの交通事故が多発している現状を知ってもらい、事故防止を呼びかけることを目的として、ツシマヤマネコ応援団が上対馬高校美術部のみなさんと協働で作成したものです。看板を設置した付近の国道上では1月にヤマネコの交通事故が発生しています。この看板が街中の路上でもヤマネコの交通事故に注意してもらおう一助になると期待しています。

ヤマネコTシャツで交通事故防止！

ヤマネコの交通事故を何とか減らそうと「ヤマネコ飛び出し注意！！Tシャツ」を制作しました。

このTシャツは前面・背面・右肩に車のライトなどの灯りで反射する素材を使ってデザインしており、夜間のドライバーの方々への注意を促しながら、練習されているランナーの方々にも安全に走って頂けるTシャツに仕上げました。

ヤマネコの交通事故防止の為に、このTシャツを役立てていただけたらと思います。



完成したヤマネコTシャツ♪

編集後記

セトツバタゴが綺麗に咲く季節になりましたわ！萩が見えなくなるほど満開に咲くと、本当に幻想的に見えます。皆さんは見に行きましたか？



ヤツガシラ

今日の一枚  
「ヤツガシラ」  
ヤツガシラはアフリカからアジアまで広く生息している野鳥で、日本では数少ない旅鳥として全国で記録のある鳥です。対馬では毎年何個体も確認されています。開けた草地などで餌となる幼虫などを盛んに探している姿を目にします。驚いたり、飛んできて着地した後に頭の冠羽を広げます。せわしなく動き回る姿を見るのは大変興味深いので、この春はヤツガシラを探してみても面白いかもしれません。